

主な事業実績
1 人材育成及び関係人口の拡大
（1）ふるさと教育やシビックプライドの醸成等による人材育成
○「シビックプライド醸成セミナー」の開催（栗原市と共催） ・R4：栗原の観光資源を洗い出しモデルコースを造成する手法を学ぶワークショップを開催全5回、18名受講 ・R5：栗原の観光資源の魅力を分かりやすく案内するための基礎知識を学ぶセミナーを開催全4回、10名受講 ・R6：花の百名山でもある栗駒山の魅力を発信していくワークショップを開催予定
〔栗原市の取組〕 ○多様化する観光ニーズに対応するためのスキルを持った人材の確保と育成 ・LNT(Leave No Trace)講習（2回） など
（2）農泊の推進や大学ゼミ合宿等誘致の取組等による関係人口の拡大
○「農泊・民泊等体験・宿泊型観光推進事業」（栗原市農泊推進協議会に委託） ・農泊・民泊等開業・経営の伴走型支援を実施（開業サポート、経営支援等 R4：23人、R5：29人） ・農泊・民泊事業者のネットワークづくりにつながるイベント開催（R6予定） ⇒R5年度末までに開業3軒（R6.9月末現在農泊・民泊施設13軒） R6年度末までに新たに2軒開業見込 ○「関係人口拡大プロモーション事業」（(合)くりはらファーマーズラボに委託） 若年層（20～30代）の関わりによる地域の企業や団体と連携した「課題解決型合宿」等の実施 ・R4：栗原産農産物を活用したレシピ開発等の取組企画 3件、計25人参加 ・R5：花山アウトドアコンテンツ開発等の取組企画 4件、計41人参加 ・R6：栗原産農産物を活用したレシピ開発等の取組企画 3件予定
〔栗原市の取組〕 ○農泊・農山村体験などの魅力的なプログラム造成 ・農泊セミナーの実施（観光物産協会） 3回 ・体験事業等の実施（くりはらツーリズムネットワーク） 年間を通して多数

2 地域経済に好循環をもたらす「滞在型観光」の推進と情報発信

（1）豊富な体験プログラムや体験学習等による「滞在型観光」の推進

○観光庁補助事業（委託） 滞在型観光の推進を目指した観光コンテンツ造成等 R4：「アドベンチャートラベル創出事業」 栗原の豊かな自然環境を活用した秋冬の新規アドベンチャーコンテンツ13件の造成、販売 R5：「台湾FIT誘客促進事業」 前年度に造成したアドベンチャートラベル商品のインバウンド向けの改良（秋冬の新規観光コンテンツ5種類造成、販売（2商品催行））、販路基盤整備（OTA登録マニュアルによる登録支援、専門家による販路開拓支援）

〔栗原市の取組〕 ○地域再生マネージャー事業 <環境にやさしいアドベンチャートラベルと食の推進> 【食のプロダクト開発】 ・栗駒山麓ジオパーク特産商品開発（しんこもちぼんぼん、ホットサンド） ・「栗駒山麓のめぐみ」ブラッシュアップ（パンフレットの刷新） ・栗原を代表する食の土産品開発 【アドベンチャートラベルの推進】 観光資源や文化、教育、体験プログラムなどを組み合わせた長期滞在型のアドベンチャーツーリズムを推進。 ・アドベンチャーツーリズムネットワークの構築（令和5年度に関係8団体でネットワークを構築し、2回会議を開催） ・環境にやさしい体験型プログラムの造成（冬のプログラムや地域資源を活用した新たなプログラム、SUPの体験プログラムの開発検討を実施） ・環境に配慮した観光推進の情報発信（PRイベントに参加（東京1回、市内1回））

2 地域経済に好循環をもたらす「滞在型観光」の推進と情報発信
（2）SNSやYouTube等の動画サイトを活用した情報発信による訴求力の強化
○SNSによる情報発信 「ございんくりはら」 ・投稿数（ブログ・SNS）：R4：197件、R5：184件 ・フォロワー数（R6.9月末現在）：インスタグラム：1,224人、X：514人 ○Instagramフォトキャンペーンの開催（委託） ・「#くりはらんちフォトキャンペーン」（7月～10月） ・投稿件数：R4：194件、R5：183件
〔栗原市の取組〕 ○ぎゅぎゅっとくりはら（栗原市観光ウェブサイト）の情報発信 ・ウェブサイトアクセス数（R6.4月～9月）：302,914回 ○SNSを活用した情報発信（フェイスブック、Instagram） ・フォロワー数（R6.10月現在）：Instagram：2,525人、フェイスブック：1,075人 ○Instagramハッシュタグキャンペーンの実施（R5.10.1～R6.1.31） ・投稿数：347件、投稿写真、動画数：958件
〔中長期的な取組〕 魅力ある広域観光ルートの構築
○岩手・宮城県際広域観光研究会（R4-5事務局） 宮城県3事務所、岩手県2振興局、両県出先機関の管轄9市町、観光協会等 ・仙台圏における県際マルシェ開催時に、観光パンフレット等を配布 R4.11.19-20（秋保ヴィレッジ）：11事業者出店 R5.11.18-19（仙台泉プレミアム・アウトレット）：11事業者出店
〔栗原市の取組〕 ○広域的事業連携 ・ゆっくりひとめぐり栗駒山麓周遊スタンプラリー R4：207通、R5：203通 （ゆっくりひとめぐり栗駒山麓連絡会議） ・第12回栗駒山麓観光写真コンクール 応募総数：R4：97点、R5：81点 ・SNSを活用した栗駒山麓観光写真コンクール（R6～） ・SNSを活用したアジア圏への情報発信業務（総閲覧数4,043,306view）

成果と今後の取組

（成果） ○滞在型観光の推進に向けて、アドベンチャーコンテンツの造成・販売や、農泊・民泊の開業志向者を掘り起こし、新たに3軒が開業するなど、インバウンドも含めた滞在型の誘客に向けた基盤づくりを進めることができた。 ○観光客に、人との交流や生活・文化体験など、地域の魅力や滞在を楽しんでもらえるサービスを提供できる人材の育成に向け、栗原地域の資源の魅力や、資源を活かした魅力的なモデルプラン作りの手法をセミナーを通じて共有することができた。今後は、より深く地域資源の魅力を引き下げ、情報発信につなげるなど、セミナーの成果を誘客に結びつけていく取組を予定している。 ○SNSを活用した観光情報の発信を実施し、フォロワーは堅調に増加している。また、投稿キャンペーンの実施により、多くの方に栗原の食や観光資源について発信してもらうことができた。 ○広域連携の取組として、岩手・宮城の県境を挟む地域の関係機関が協働し、仙台圏での「県際マルシェ」の開催などを通じて広域観光PRを実施することができた。
（今後に向けて） ○インバウンドを含めた誘客に向けては、魅力ある観光資源が複数あるものの、他地域との差別化が十分に図られていない。また、インバウンドの受入環境も十分に整っているとはいえ、観光客に選ばれる地域づくりに向けた取組が必要である。 ○魅力的な周遊ルートの構築に向けて、DMOや周辺地域と連携した広域的な取組が必要である。